



本校  
ホームページ  
QRコード

## 修学旅行（3年生）



1学期も折り返しのころとなりました。時々ですが、アジサイの花を見かけることもあります。もう少しすると、『梅雨』の季節です。健康面に留意して、蒸し暑さにも負けないようにしていきましょう。

さて、5月28日（木）～30日（土）の3日間、3年生が東京・横浜方面への修学旅行を実施しました。慣れない土地で宿泊を伴う活動でしたが、現地でさまざまな活動を通して、多くの生徒の前向きな姿を感じる場面が何度か見られました。この紙面にて、全体的なようすを紹介します。

### 【1日目（28日・木）】

#### ○ 国会議事堂見学 / 浅草分散活動 / キャリア学習

初日、集合完了が6:10と早朝でしたが、修学旅行参加者は、ほぼ遅刻することなく集合することができました。

スタートは予定よりも少し遅れましたが、東京までの行程は順調でした。JR名古屋駅ホームで新幹線の到着を待つ間、他校生徒に手を振るなどの姿も見られました。

途中、新幹線の車内から富士山は…残念ながら裾野のあたりしか見えませんでした。

最初の見学地となる『国会議事堂』では、国会がどのような場所であるかを、傍聴席で説明を聞きました。



国会議事堂内（今回は衆議院）の見学は、見るものすべてが初めてのことであり、建物内部の雰囲気味わうようすがありました。

国会議事堂見学の次は、浅草での分散活動です。雷門から浅草寺周辺を散策しました。人の多さにびっくりしたのではないのでしょうか。その後、スカイツリーへ行き、地上350m付近から東京の景色を楽しみました。ただ、雲が多く遠くまで見渡せられなかったのが心残りでした。

初日の締めくくりは、『中学生のうちから意識する社会人基礎力』というテーマで、以前にディズニーランドでキャストとして働かれていた方から、ディズニーランドがお客様（ゲスト）に対して大切にしていることなどのお話を聞きました。ディズニーランドの見どころもいくつか教えていただきました。講師の方からの質問にも、しっかりと考え発表する

姿がたくさん見られました。

まだ初日だったこともあってか、全体の雰囲気は元気いっぱいそのものでした。各所で、集合時間を守って行動できたことは、団体行動をするうえで良い姿でした。

## 【2日目 (29日・金)】

### ○ 班別分散学習 (お台場・上野) / 東京ディズニーランドグループ別行動

2日目は、宿泊施設の最寄り駅となるJR新浦安駅から電車で移動し、お台場または上野方面へ班別分散を行いました。

目的地まで数班ごとに移動しましたが、電車内や電車の乗り継ぎの場面では、人の多さに仲間の姿を見失わないように緊張感をもって移動していたように思います。このような場面でも、首都東京を実感できたのではないのでしょうか。

この日は、天気も良く、熱中症の心配もありましたが、各班で適宜休憩を入れながら、計画した行程で学習していたようです。

お台場にしても、上野にしても、ここでもたくさんの人出でした。修学旅行生らしき団体にも多く出会いました。そういった光景も、思い出の一つになっているかもしれません。



分散学習のゴールは、東京ディズニーランドです。ここではグループ別で行動しました。この場所での活動を楽しみにしていた生徒が多かったようで、入場時には急ぎ足で移動する姿がありました。平日でしたが来場者は多く、ここでも人の多さに戸惑った生徒もいたのではないのでしょうか。

活動後の集合は、時間を守って集まることができました。『もう少し、ここにいたい。夢の時間が終わる。』と思った生徒もいたと思いますが、2日目も時間を守れた姿はとてもよかったです。

## 【3日目 (30日・土)】

### ○ 横浜中華街周辺班別分散学習

最終日、この日も天気はほとんど雲も見られないような晴天でした。

取組は、『横浜中華街』周辺での班別分散学習です。暑いなかでの活動でした。

限られた範囲での行動でしたが、土曜日ということもあってか、ここでの人出もすごく、人をよけながら前に進むという感じでの移動でした。

集合場所での山下公園内でも、地域のイベント (ハマフェス) も開催されていたことから、通常よりたくさんの方が集まっていたようです。

最終日、さすがに集合時の生徒の表情からは、『疲れた』感がみられました。それでも集合時間を守って行動することができ、いい締めくくりになったと思います。

3日間の生徒のようすからは、素敵な姿が多々見受けられました。たとえば、バス降車時や関係の方々には挨拶する姿などです。また生徒実行委員会を中心に、中学校生活最後の宿泊行事を成功させようと、よく頑張ってくれていたと思います。

これらの成果 (姿) を今後の学校生活のなかで活かしていき、笹川中学校の最上級生として下級生を引っ張っていきましょう。

